

湯之國

登

別

心
も
体
も
温
まる。





地獄谷 MAP P7-A・P16-A

地獄谷は、クッタラ火山の活動によってできた爆裂火口跡。直径約450m、面積約11haで、谷に沿って数多くの湧出口や噴気孔があり、泡を立てて煮えたぎる風景が「鬼の棲む地獄」の由来となるほど。ここから湧き出た多種類の温泉が各旅館・ホテルへと送られている。



鉄泉池 MAP P7-A

ぐつぐつと熱湯が噴出する湯煙地獄。地獄谷遊歩道の奥にある間欠泉で、湯煙をあげる様子は地獄そのもの。



ぐつぐつ。今にもそんな音が聞こえそうな地獄谷に一步足を踏み入れると、硫黄の匂いが立ち込め、地の底からは湯煙や水蒸気が勢いよく噴き出す。まさに地獄めぐりの気分。そんな地獄谷は四季折々に異なる表情を見せる。春は花に囲まれ、夏は覆い茂った原生林が広がる。赤く燃える秋の紅葉、雪に覆われつゝも熱気の伝わる冬景色もまた格別だ。遙か昔から続く、大地の物語があるにある。

登別といえば、地獄谷。
湯けむりの向こうに自然の神秘。

ぐつぐつ。ぐつぐつ。



地獄谷で大地の息づかいを感じたり、
露天風呂で気持ちを泳がせたり。
湯上りは浴衣姿でふらりと街ぶらり。
ここには心がほかほかして、
体がほかほかするときがあふれています。

なんだかいいねえ、
のぼりべつ。

殺菌力の強い
無色透明の湯

酸性鉄泉 さんせいとつせん 《含鉄泉》

pH(水素イオン濃度)が3以下で、肌に刺激のある温泉。火山地帯に多い。殺菌力が強いので湿疹などに効き目があるが、皮膚の弱い人は入浴後に真水で洗い流した方が良い。

美肌効果もある
やや黄褐色の湯

明ばん泉 ようばんせん 《含アルミニウム泉》

明ばん泉は火山地帯に多い泉質。皮膚や粘膜を引き締め、慢性の皮膚疾患や粘膜の炎症、水虫、じんま疹などに効き目がある。道外では草津温泉が有名。

身体の芯まで温まる
茶褐色の湯

緑ばん泉 りょくばんせん 《含アルミニウム泉》

陰イオンが硫酸イオン、陽イオンは鉄イオンが主成分。強酸性で、銅やマンガンなどの鉱物を含むことが多い。良く温まり、貧血症や慢性湿疹などに良い。

「美人の湯」とも呼ばれる
無色透明の湯

重曹泉 じゅうそうせん 《炭酸水素塩泉》

陰イオンが炭酸水素イオン、陽イオンはナトリウムイオンが主成分。無色透明で石鹼は良く溶けます。皮膚の角質層を軟らかくし、分泌物を乳化する作用がある。皮膚病、切り傷などに良い。

※写真はイメージです。※お湯の色は、浴槽及び季節によって変わって見える場合ございます。

登別温泉宿泊・日帰り入浴受入れ施設一覧

ホテル・旅館・浴場名 <泉質>	電話番号
登別石水亭 硫	宿 TEL.0143-84-2255
望楼NOGUCHI登別 硫	宿 TEL.0143-84-3939
御やど清水屋 硫	宿 TEL.0143-84-2145
名湯の宿 パークホテル雅亭 硫	宿 TEL.0143-84-2335
旅亭花ゆら 硫	宿 TEL.0143-84-2322
登別温泉郷 滝乃家 硫 食 鉄 ラ	宿 TEL.0143-84-2222
滝本イン 硫	宿 TEL.0143-84-2205
第一滝本館 硫 食 玄 緑 重	宿 TEL.0143-84-2111



【これぞ自然の恵みのマッサージ】

天然足湯では、足元は天然の石のため、イスに座ったままで足を動かすと足つぼの刺激に。

豊富な源泉

～は新温泉名



ゆで卵のような匂いが
特徴の乳白色の湯

硫黄泉 いおうせん 《硫黄泉》

見た目は乳白濁で、独特の臭いがし、石鹼の泡立ちは悪い。毛細血管や冠状動脈を拡張させる働きがあるため、慢性気管支炎や動脈硬化症に効く。解毒作用もあり、慢性皮膚病などにも良い。

血液の流れをよくする
無色透明の湯

芒硝泉 ぼうしょうせん 《硫酸塩泉》

硫酸塩泉のひとつで、無色透明だが塩味がある。ナトリウムを含み、硫酸イオンにより血管を拡張して、血液の流れをよくする効果がある。高血圧症や外傷、動脈硬化症などに良い。

鉄イオンを含んだ
赤茶色の湯

鉄泉 てつせん 《含鉄泉》

鉄イオンを1kg中、20mg以上含む源泉。空気に触ると赤茶色となり、タオルが赤っぽくなる。金属味がすることも。良く温まり、貧血症や慢性湿疹などに良い。

万病に効くとして知られる
無色透明の湯

ラジウム泉 らじうむせん

主体はラドンヒドロンで万病に効く温泉として昔から人気がある。特に鎮静作用があることから神経痛、リウマチ、更年期障害などに良い。

ポカポカと湯冷めしない
無色透明の湯

食塩泉 しょくえんせん 《塩化物泉》

日本では最も多い泉質のひとつ。無色透明で、しおからい味がして、石鹼は泡立ちにくい。保温効果が高く、湯冷めしないため「熱の湯」とも呼ばれる。神経痛や腰痛、冷え性などに良い。



大湯沼 MAP P7-B・P16-B

大湯沼はクッタラ火山の爆裂火口跡にできたひょうたん型の沼。周囲約1km、世界的にも珍しい大規模な湯の沼だ。沼底では約130℃の硫黄泉が激しく噴出し、表面温度でも約40℃～50℃ある。昔は底に堆積する硫黄を採取していた。

神秘的！

ぐつぐつ
その式。



大湯沼川 MAP P7-C

大湯沼から溢れるお湯が流れをつくる、まさに「お湯の川」。川の両岸には樹木の緑葉と湯気、木漏れ日があいまって神秘的な光景を演出している。



奥の湯 MAP P7-E

「ふき」という円錐形の沼の底から灰黒色の硫黄泉を湧き出す直径約30mの円形の湯沼。クッタラ火山の爆裂火口跡にできた沼で、表面温度は約75℃～85℃と高い。特に手前と中央付近の噴出は激しく、煮えたぎる湯釜のように見える。



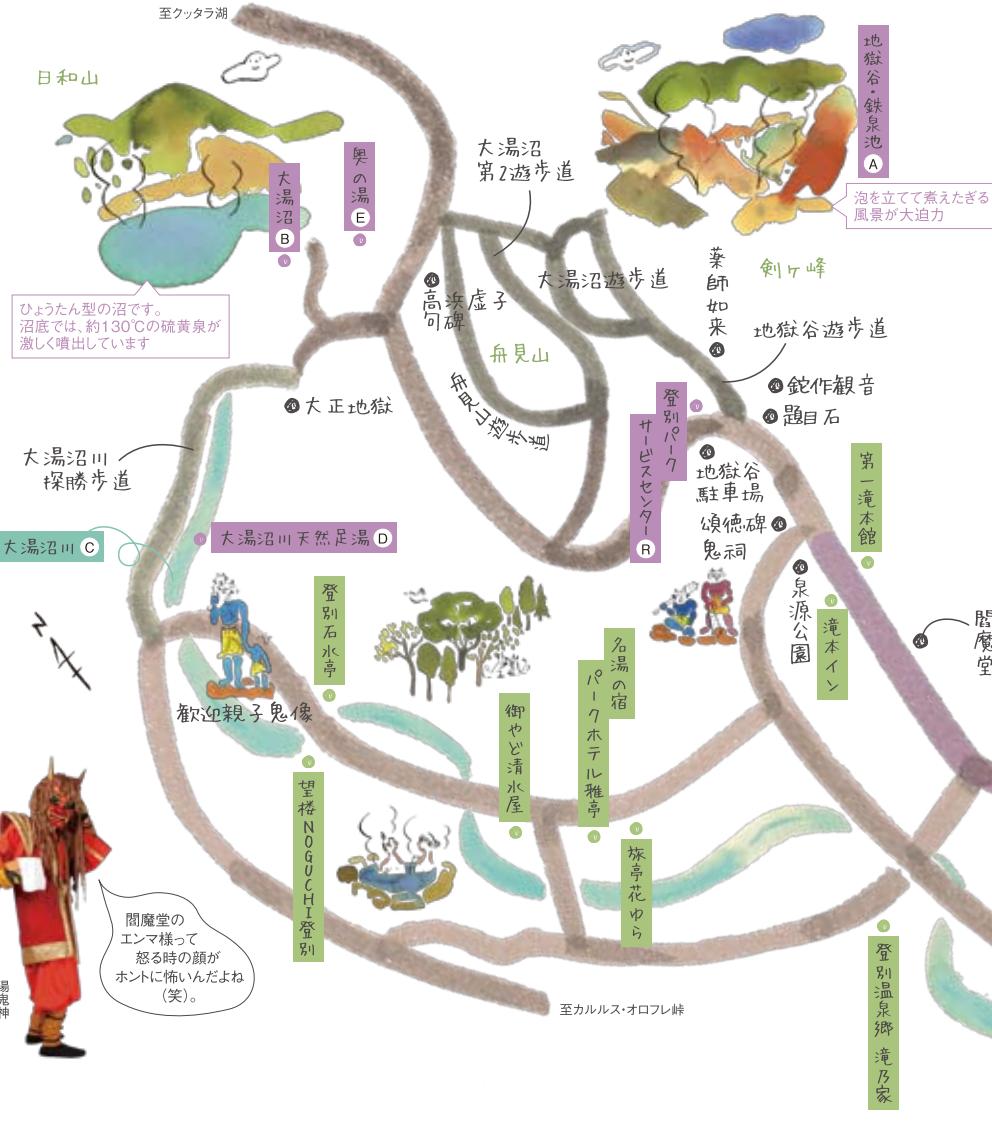
【地獄の入口は15カ所？】

地獄谷には、鉛地獄・鉄砲地獄など15の地獄があるんだ。

か、うん、こ、ろん。

温泉街を浴衣姿で歩けば
懐かしい日本の匂いがする。

温泉街を歩くなら、やっぱり浴衣姿が似合う。からんごん。下駄の音が心地よく響く。おみやげ屋さんの元気な掛け声やラーメン屋さんの美味しそうな匂いも、どこか懐かしい。温泉街のあちらこちらでは、いろんな鬼像がお出迎え。商売繁盛、恋愛成就、無病息災…。鬼の世界にもいろいろあるようだ。まさに古き良き温泉街のたたずまい。登別温泉の温もりは、ゆっくり歩いてみるとよくわかる。



このは湯之国。美しいピンク色のエゾヤマザクラは、今や登別の春に欠かすことのできない風物詩だ。

春の登別



JR登別駅から温泉通りへ

と続く登別温泉通りは春になると「花のトンネル」となる。沿道沿い約8kmに続いている。桜並木だ。きっかけは昭和9年に皇太子のご誕生を記念して地元の人々が、道路沿いにエゾヤマザクラを植樹したことによる。その後、サクラの数は年々増えている。現在では2千本を優に越えている。

【閻魔大王はお祭りの主役】

閻魔堂の閻魔大王は、毎年「地獄まつり」で「閻魔大王のからくり山車」として温泉街に現れるよ。



湯上がりは
極楽通り商店街を
そぞろ歩きするのが
楽しいね。

湯鬼神
地獄谷在住

至登別東インター
国道36号
JR登別駅

【温泉は女性の強い味方】

温泉にはクレンジングや美白作用のある成分が含まれているから、美容効果も期待できるんだよ。



じんわり辛い、
魔様のお気に入り!

登別魔らーめん

滑らかでコシのある北海道産小麦100%麺は、地獄を思わせる赤みのあるスープとの相性もバツグンだ。自慢の辛味噌スープにはたっぷりの胡麻を使用している。魔様も思わずウマイ!どうなる美味し。

■株式会社 望月製麺所(登別市新栄町1丁14)
TEL.0143-85-2236
<http://www.mochizuki-seimen.com/>



湯上りの至福に、
プレミアムビール。

鬼伝説

青鬼ピルスナー/赤鬼レッドエール

登別の美味しい水を使用した麦芽100%の生ビール。青鬼は、ホップのきいた爽快な淡色ビール。赤鬼は、赤みを帯びほんのり甘いフルーティーな香りと芳醇な味わいが特徴。湯上りの一杯なら、あなたはどうっちを選ぶ?

■株式会社 わかさいち本舗
(登別市中登別町96-6)
TEL.0143-80-2110
<http://www.wakasaimo.com/>



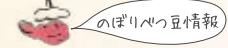
真っ赤な色と辛さが絶妙。
北海大だこ地獄漬

絶妙のプリプリ食感に茹でた登別産ヤナギダコを、辛さのあとに甘みが残る手作り無添加ヤニヨムジャンに漬け込んだ本格海鮮キムチ。

■有限会社 貴泉堂農産物部温泉市場
(登別市登別温泉町50)
TEL.0143-84-2560 <http://www.onsenichiba.com/>



夏の登別
例年5月中旬から8月上旬までは期間限定で「チップタラ湖は、周囲約8kmの円いカルデラ湖。国内トップクラスの透明度を誇り、吸い込まれそうなほど美しい神秘的だ。澄んだ湖にはエゾサンショウウオ、ザリガニなども生息している。



【硫黄泉でダイエット!】

登別温泉に多い硫黄泉にはデトックスやダイエット、便秘改善に効く成分が含まれているんだって。



ふわふわ、もっちもちの競演。

極上シフォンケーキ

北海道産小麦粉特有のふわふわ、もっちもちの食感に加えて、コクのある「のぼりべつ牛乳」と白老産の新鮮なさくら卵の風味がほんのりまろやか。ほどよい甘さがうれしいブレーンシフォン。

■有限会社 かめやアーニス店
(登別市中央町4丁目11) TEL.0143-88-1286



ソフトな食感のこだわり燻製。

のぼりべつホタテ燻

北海道噴火湾産のプリプリのホタテ貝を、4種類のスマートチップ(ナラ・サクラ・リンゴ・クルミ)でソフトタイプの燻製に仕上げた。燻製の上品な香りの中にホタテ本来の味わいが広がる。

■冷鮮工房 うす田(登別市栄町3丁目22-19)
TEL.0143-87-0480
<http://www.reisenkoubou.com/>



昔ながらの製法を守る
手造りの味。

らんぽっけのたらこ

前浜でとれたスケトウダラの卵を昔ながらの製法で仕上げた登別たらこ。一粒一粒はまろやかで、口当たりのよい味わいが特徴だ。

■有限会社 マルフク武澤水産
(登別市富浦町1丁目24-7)
TEL.0143-83-3466



“口どけとろふわ”の濃厚プリン。

のぼりべつ とろ~りプリン

地元の「のぼりべつ牛乳」をたっぷり使用したトロトロ食感の絶品スイーツ。プリンの底に入っている香ばしいカラメルが、プリンの甘みと絶妙に絡み合う。



■株式会社 のぼりべつ酪農館
(登別市札内町73-3)
TEL.0143-85-3184
<http://www.rakunoukan.com/>



。

うまい成分たっぷりの味わい。

文志郎の 納豆輪メ昆布巻

大豆は北海道産の大粒大豆、昆布は南茅部尾札部産の三年物を使用。昆布で巻いて納豆を発酵させることにより、昆布のうまみが納豆にしみこんだ逸品。

■道南平塚食品 株式会社(登別市幌別町4丁目12-1)
TEL.0143-85-2167 <http://www.nattou.co.jp/>



登別温泉の最古の名物。

(藤)わさび漬

初代藤崎虎太郎が大正4年から始めた本わさび栽培。わさび漬は、栽培、加工、製造、販売をすべて登別温泉で手掛ける伝統の一品。

■藤崎わさび園(登別市登別温泉町49)
TEL.0143-84-2017
<http://www.marufuji-wasabi.jp/>



登別って
海の幸も山の幸も
自慢できるものが
いっぱいあるよ。

登別くん
(観光PRキャラクター)

美味しいものを食べると笑顔になる。
それってかなりシアワセな時間。

ま
く
ま
く
ま
く

お土産選びで迷った経験は誰もがあるはず。登別温泉にはシンボルである鬼をデザインした土鉢、鬼面、お菓子など、ここでしか手に入らないものがいっぱい。ますます悩みそうだ。そんなときに鬼が「ごり教えてくれたのが「登別ブランド推奨品」。原料や製造方法にこだわった登別のまちをあげての自慢の味覚だそうだ。では、さつそく最古の名物から極上スイーツまで、「鬼のイチオシ」を紹介してみよう!

わくわく。

登別って、温泉だけじゃないんだ。
そんな気分に自然となっちゃいます。



「温泉のデパート」なんて呼ばれている登別温泉。だけど、ぐるっと登別を回ってみるとそれ以外の魅力にすぐ気づいてしまう。神秘的な湖に出掛けたり、いろんな鬼と出会う鬼の像めぐりを楽しむのもいい。勢いよく吹き出す間欠泉を間近で見て驚きの声をあげた後は、ビュースポットで雄大な自然美に癒される。さあ、次はどこへ行こうか。見どころぞくぞく。実は登別って「わくわくのデパート」なんだ。



オロフレ峠 MAP P14-F

登別温泉と洞爺湖のちょうど中間地点にあるオロフレ峠。展望台からは羊蹄山、噴火湾、洞爺湖などが連なる雄大な風景を一望できるビュースポット。



鉱山町

山の空気を味わいながら川の流れる音や風で揺れる木々の音、鳥や動物達の鳴き声を聞き、日々変化する自然の雄大さを味わうことができる。



泉源公園 MAP P16-G

地獄谷から流れる温泉の川沿いから噴き出す、間欠泉を活用した公園。約3時間位の間隔で、ブクブクと熱湯が噴出する迫力ある湯煙地獄を体感することができる。



美しいクッタラ湖には
ぜひ行ってほしいですね。
デートにもいいかも。



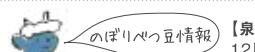
日和山原生野草園 MAP P14-H

日和山周辺の約2.4haの土地にある野草公園。7月には黄色い花が咲くクサレダマ、8月にはピンクのヤナギラン、9月には紫色が美しいエゾグンドウが咲き誇る。



クッタラ湖 MAP P16-I

日本有数の水質、透明度を誇るカルデラ湖。クッタラの語源はアイヌ語で「虎杖（いたどり）の群生するところ」からきているといわれ、様々な植物や原生林に囲まれた神秘的な湖だ。



【泉源公園イルミネーション】
12月～3月は泉源公園で素敵なイルミネーションを実施。ブルーのライトと湯けむりのコラボが楽しめる。



シンボル鬼

温泉街には高さが50cmほどの愛嬌のある鬼が3体。それぞれ合格祈願、商売繁盛、恋愛成就。



念仏鬼像

江戸時代から伝わるという念仏鬼像が祀られた小さな祠（鬼祠）を赤鬼と青鬼が守っている。



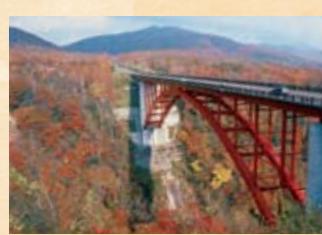
歓迎親子鬼像



洞爺湖に向かう道の途中にある親子と子鬼が手をつなぐぼんぼんとした親子鬼像。

洞爺湖へ向かう道の途中にある親子と子鬼が手をつなぐぼんぼんとした親子鬼像。

洞爺湖へ向かう道の途中にある親子と子鬼が手をつなぐぼんぼんとした親子鬼像。



JR登別駅前歓迎鬼像

駅を出てすぐに目に飛び込む鎮座する鬼像。毎年「地獄まつり」では、鬼みこしとなって現れる。



歓迎鬼像

道央道登別東インターチェンジの出口に立つ歓迎鬼像は、重さ18t、高さ18mといっしきスケール。



閻魔堂

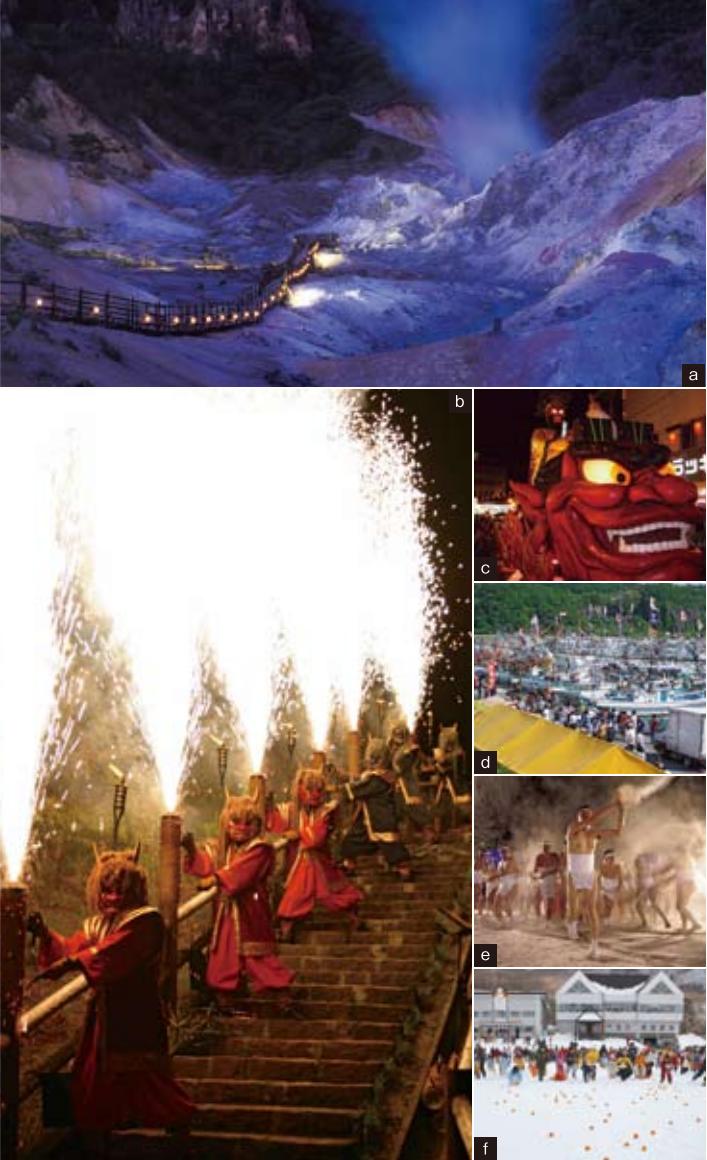
温和な顔の閻魔様も、決まった時間に始まるからくりで激変。目が光って激しく動き出す！



湯かけ鬼藏

かわいい鬼の像に温泉をかけて病氣災、諸病平癒を願う。冬は冷えた手を温めるのにも最適。





a 5月～11月 鬼火の路、幻想と神秘の谷

揺らめく灯り(フットライト)が夜の地獄谷を照らす。いつもは真っ暗闇に覆われている地獄谷も、「鬼火の路」でほんのりと火口跡が浮かび上がる。(時間/日没～22:00)

b 6月～8月 鬼花火

赤鬼と青鬼たちが、10mもの火柱が上がる手筒花火を持って登場。ドラの音と共に降りてくるその姿は圧巻。夏の週末限定イベント。

c 8月 登別地獄まつり

8月の最終土・日曜、年に一度「地獄の釜のふた」が開き、閻魔大王が赤鬼と青鬼を従えて温泉街へ現れる。重さ1トンにもなる「鬼みこし」や、「閻魔大王のからくり山車」を中心とした「地獄大行列」「鬼踊り大群舞」など、鬼たちが賑やかに登場する迫力満点の祭り。

d 9月 登別漁港まつり

9月の第2土・日曜日に海上安全と豊漁を願い開催。大人気の朝揚げサケや海産物の即売会が行われ、フィナーレは華麗な花火大会。

e 2月 登別温泉湯まつり

厳寒の2月3～4日、「湯」の効能への感謝と、「湯」が尽きることが無いよう繁栄と無病息災への祈りを込めた祭り。勇壮な「源泉湯かけ合戦」や「道祖神裸わりこみ」で、会場は熱気の渦に巻き込まれる。

f 3月 カルルス温泉冬まつり

3月上旬、サンライバスキー場を舞台に繰り広げられる冬の祭典。少年スキー大会、親子ボブスレー大会、雪中宝探しなど盛りだくさん。

北海道の冬を代表するスキー場。アラスカの「スキー」だが、登別には来馬岳の斜面に広がるサンライバスキー場がある。初心者から上級者、ボーダーも満足できる全7コース。スキー場は3基あり、ナショナルスキー連盟認定のスキー場である。滑りの後は、登別温泉やカルルス温泉で冷えた身体をゆっくりと温めたい。



知里幸恵 銀のしづく記念館 MAP P16-J

アイヌで初めてアイヌの物語を文字化した『アイヌ神話集』の著者である知里幸恵。彼女の業績を紹介するとともに、アイヌ文化を広く伝えることを目的とした記念館。

【住所】登別市登別本町2-34-7 【電話】0143-83-5666
【開館時間】9:30～16:30(入館は16:00まで)
【休館日】火曜日(祝日は除く)、年末年始(12月28日～1月5日)
【入館料】大人500円(登別市民250円)、高校生200円、小・中学生100円



野本 醇 北の箱舟美術館 MAP P16-L

野本 醇氏が描いた油彩画が展示されている。野本氏の作品は「心象絵画」と呼ばれ、造形思考から生まれた深く静かなイメージを楽しむことができる。

【住所】登別市登別本町2-21-4 【電話】0143-83-2788
【開館】土・日曜日、祝日10:00～16:30(入館は16:00まで)
【休館】11月4日～4月中旬まで休館
【入館料】無料



のぼりべつ文化交流館 カント・レラ MAP P16-M

登別市内の遺跡から発掘された土器や石器の展示だけでなく、縄文服を着たり、また玉づくりや火起こしなどの縄文体験をたっぷりと楽しむことができる。

【住所】登別市登別温泉町123-1 【電話】0143-84-2069
【開館時間】埋蔵文化財展示室／10:00～17:00(11月は16:00まで)
【休館日】月曜日、国民の祝日の翌日、12月～3月冬季休館
【入館料】無料

明治40年頃



語っている。

安政5年(1858)、滝本金蔵が湯守となつたのが登別温泉の始まりと言われている。私費で道を整えて湯宿を設け、現在の基礎を築く。その後、明治38年に日露戦争傷病兵の保養所に指定されると「名湯」として全国にその名が広まった。そんな登別温泉の大きな魅力は、自然湧出量1日1万トンと言われる湯量と9種類もの泉質。世界的にも珍しい、まさに「温泉のデパート」だ。アイヌ語の「ヌブルペツ」白く濁った川・色の濃い川を語源とする登別。古くから川の色が変わるほど豊富に温泉が湧き出していたことを物語っている。

**名湯もアイヌ文化も、登別の歩み。
古きをたずねて新しきを知る。**



山頂からは太平洋、遠く恵山岬、駒ヶ岳、日高山脈などが望める開放的な存在のスキーコース。滑りの後は、登別温泉やカルルス温泉で冷えた身体をゆっくりと温めたい。



P16-W
登別市民プール
らくあ



【住所】登別市幸町1-5-2
【電話】0143-85-5588

競泳プール7コース(日本水泳連盟25M公認プール)、多目的プール(水中運動教室等利用)流水プール(歩行用プール)、リラクゼーションプール(5種類のジャグジー)、トレーニングルーム等の施設を完備。

P16-X
トレーニング
ハウス
ドッグトーク



【住所】登別市札内町201
【電話】0143-88-2631

JKC・JSV公認訓練士が愛犬の訓練やドッグスポーツを教えてくれる。また、小型犬～大型犬まで預かることのできるホテルも併設。(見学可・利用には1年以内のワクチン接種をしていることが条件)

P16-Y
登別
オフロード
パーク



【住所】登別市札内町230-1
【電話】0143-88-3066

北海道でしか味わえない自然・スリル・癒しを満喫。自然が豊富な札内高原の中で、年間を通して四輪バギー、冬季にはスノーモービル体験ができる。夏季9:00～18:00/冬季9:00～16:00(年中無休)

P16-Z
登別カントリー
俱楽部



【住所】登別市上登別9-1
【電話】0143-88-1123

原始林と大峡谷という壮大な景観を背景に設計された美しいゴルフ場。自然環境を十分に生かして白樺で分けられたコースは、フェアウェイもグリーンも広く、思い切りプレーを楽しめる。

登別
宿泊のご案内 ※市外局番0143
いづみヴィラ TEL.83-1331



登別市

上登別温泉
ひっそりとした穴場の温泉地。灰白色の
お湯は、濁り湯好きにはたまらない温泉と言
えるだろう。
宿泊のご案内 ※市外局番0143
旅館四季 TEL.84-3045
民宿新登別温泉荘 TEL.84-3124
(夏季のみ営業)



P7-R
P16-R
パークサービス
センター

【住所】登別市登別温泉町
【電話】0143-84-3141

地獄谷の入口に位置し、一般財団法人自然公園財団が管理・運営している施設です。センター内には、地獄谷周辺の自然や遊歩道などを紹介した案内板を設置しているほか、観光パンフレットの配布などを行っています。



P17-S
龜田
記念公園

【住所】登別市富岸町3
【電話】0143-86-2511

約19万5千m²の敷地を持つ北海道でも有数の庭園風公園。春になるとエゾヤマザクラ、ソメイヨシノなどが見事な花を咲かせる。合計2万本を超える樹木が茂り、芝生、小川、池、散策路などが整う。



P14-N
カルルス温泉
サンライバ
スキー場

【住所】登別市カルルス町27
【電話】0143-84-2872

ゲレンデ総延長距離約5キロメートル、レストラン、売店など施設の整ったスキー場。スキーやスノーボードのほか、長靴やソリのレンタルも可能で、雄大な大自然の中、初心者からベテランまで快適なスケーライフがお楽しみいただけます。



P16-O
サンチャイルド

【住所】登別市札内町299-1
【電話】0143-83-0777

道内では珍しいラ・フランスのソフトクリームが人気で、炭焼ジンギスカンも楽しめる。またウサギやヤギ・仔牛など、かわいい小動物達と遊べるミニ動物園があり、予約すれば乳搾り体験なども可能。



P16-P
登別市
ネイチャーセンター
ふおれすと鉱山

【住所】登別市鉱山町8-3
【電話】0143-85-2569

自然環境学習や野外体験活動などに利用できる宿泊施設。初心者から上級者向けまで様々な体験プログラムを実施している。館内には木の広場やクラフトルーム、ホールなどがあり日帰り利用も可能。



P16-Q
札内高原館

【住所】登別市札内町73
【電話】0143-85-3184

廃校を改修してできたコミュニティ施設。登別産の牛乳を使った乳製品の製造・販売を行っている。バターやアイスクリームづくりなどの体験が可能。(要予約)

秘湯物語

カルルス温泉



宿泊のご案内	※市外局番0143
ホテル岩井	TEL.84-2281
湯元 オロフレ荘	TEL.84-2861
久住旅館	TEL.84-2855
森の湯 山静館	TEL.84-2856
鈴木旅館	TEL.84-2285

登別温泉から北西へ約8km、車で約15分のところに位置するカルルス温泉。発見は明治19年(1886年)。その3年後に日野久橋が温泉の開発に情熱を注いだ。そして明治32年、道路や旅館を整備し、温泉地として開湯した。

「カルルス」の名称は、チコ西部の都市カルルスバード(現在のカルロビ・バリ)温泉に似た泉質であったことによる。泉質は、無味・無臭・無色透明の芒硝性単純泉。昭和32年には北海道で最初の国民保養温泉地に指定された日本屈指の名湯だ。

登別伊達時代村



江戸時代の街並みや文化をまるごと再現した歴史テーマパーク。大迫力の忍者アクションショーや花魁(おいらん)とのお大尽遊び、笑いあり涙ありの人情時代劇など、お江戸の風情を満喫できる様々なアトラクションをご用意しております。

【住所】登別市中登別町53-1

【電話】0143-83-3311

【料金】大人料金2,900円、子供料金1,500円、幼児料金600円

登別マリンパークニクス



デンマークに実在する古城をモデルにしたニクス城を中心には、北欧の街並みが広がる水族館。アクアトンネルではエイやサメなどの魚群が遊泳する幻想的な海の世界を楽しめる。またペンギンのパレードやイルカ、アシカの楽しいショーも人気。

【住所】登別市登別東町1-22 【電話】0143-83-3800

【料金】大人(中学生以上)2,400円、小学生1,200円

幼児(4歳~未就学児)600円

のぼりべつクマ牧場



登別温泉街からロープウェイで上がった山頂にある施設。100頭余りのヒグマを飼育し、子グマ牧場やツキノワ・アトラクション、クマ達の真ん中に出るスリル満点の「人のオリ」などで、クマを身近に見ることができる。世界でも珍しいクマ専門博物館も見どころだ。

【住所】登別市登別温泉町224 【電話】0143-84-2225

【料金】一般(大人)2,520円 一般(小人)1,260円

※小人は4歳以上小学生以下を対象



秘湯女テーマパーク

交通 アクセス

空路

最寄りの新千歳空港へは、東京、大阪、名古屋、福岡などの各主要都市より
JAL、ANA、AIR DO、SKYが運航しております。

海路

苫小牧港 ⇄ 仙台・名古屋(太平洋フェリー) 苫小牧港 ⇄ 大洗(商船三井フェリー)
苫小牧港 ⇄ 八戸(川崎近海汽船) 苫小牧東港 ⇄ 秋田・新潟・敦賀(新日本海フェリー)

JR線

札幌	幌	⇒	登別	特急:約1時間10分	室蘭	蘭	⇒	登別	普通:約35分
函館	館	⇒	登別	特急:約2時間15分	苫小牧	牧	⇒	登別	特急:約25分、普通:約45分
新千歳空港	⇒	登別	特急:約50分(南千歳乗り換え)	旭川	川	⇒	登別	特急:約2時間30分(札幌乗り換え)	

バス路線

登別駅 ⇄ 登別温泉 道南バス:約15分
札幌駅 ⇄ 登別温泉 道南バス:高速約1時間50分
新千歳空港 ⇄ 登別温泉 道南バス:高速約1時間15分

苫小牧駅 ⇄ 登別温泉 道南バス:約1時間10分
室蘭駅 ⇄ 登別温泉 道南バス:約1時間15分

*乗り換えの場合は、札幌駅 ⇄ 室蘭(「登別」で登別温泉行きに乗り換え)
新千歳空港 ⇄ 室蘭(「汐見坂」または「登別東インターチェンジ前」で登別温泉行きに乗り換え)

マイカー

登別温泉
国道36号(登別駅前交差点)より約8km
道央自動車道(登別東IC)より約6km

カルルス温泉
国道36号(登別駅前交差点)より約14km
道央自動車道(登別東IC)より約12km

上登別温泉
国道36号(登別駅前交差点)より約8km
道央自動車道(登別東IC)より約6km

交通のお問い合わせ

JR登別駅	TEL.0143-83-1004
道南バス登別温泉ターミナル	TEL.0143-84-3111
室蘭ハイヤー	TEL.0143-84-2171
高速道路登別東インター	TEL.0143-83-2767
太平洋フェリー(苫小牧)	TEL.0144-34-5185
川崎近海汽船(苫小牧)	TEL.0144-34-1181
商船三井フェリー(苫小牧)	TEL.0144-34-3121
新日本海フェリー(苫小牧東)	TEL.0145-28-2800

緊急時

登別厚生年金病院 TEL.0143-84-2165
(内科・整形外科・循環器内科など)



ほっこり

(社)登別観光協会

北海道登別市登別温泉町60
TEL.0143-84-3311 FAX.0143-84-3303
E-mail. biban@rose.ocn.ne.jp

登別市役所観光室

北海道登別市登別温泉町60
TEL.0143-84-2018 FAX.0143-84-2519
E-mail. spa@city.noboribetsu.lg.jp